

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

= うつくしい

第9号

うづぐすえ

令和1年 9月

発行：東北文教大学 地域連携
ボランティアセンター

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会



須川の埋没林を 保存する！！



実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動 実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

第1回 自然・茂吉コース

2019年4月20日(土)、第1回バスツアーを行いました。ガイドは前年度に引き続き、本プロジェクト協力委員である三宅さん、横沢さんと本学の学生スタッフが勤めました。

今年度は、まるぐマップに記載されてある、自然・茂吉コース、いにしへの郷コース、羽州街道コースを元にそれぞれバスツアーを計画しています。第1回目の自然・茂吉コースでは愛染神社の山形市天然記念物に指定されているエドヒガンザクラが綺麗に咲く時期に設定しました。当日は天気にも恵まれ、お花見も楽しむことができました。ご参加下さった皆様、誠にありがとうございました。



↑山形市指定天然記念物
「エドヒガンザクラ」

周遊コース

大学出発

須川の埋没林

津金沢の大スギ

愛染神社

オサヤジ

狼石

はらっぱ館

松原神明神社

松原不動尊

福田神社

大学到着



↑松原神明神社で記念撮影

第2回 いにしへの郷コース

2019年8月18日(日)、甲箭神社の蓮の花が綺麗に咲く時期に第2回目のバスツアーを実施しました。当日は、猛暑の中のツアーとなりましたが、大きく立派な蓮の葉と綺麗に咲いた蓮の花も観ることができました。また、谷柏古墳群（山形県指定史跡）では、昭和26年に谷柏古墳群（7世紀頃築造）が発見され、その5号墳における石棺の副葬品として出土した大変貴重な「鉄剣」をお借りして鑑賞することもできました。

周遊コース

大学出発

谷柏古墳群

甲箭神社

念力寺

下谷柏公民館
(昼食)

須川の埋没林

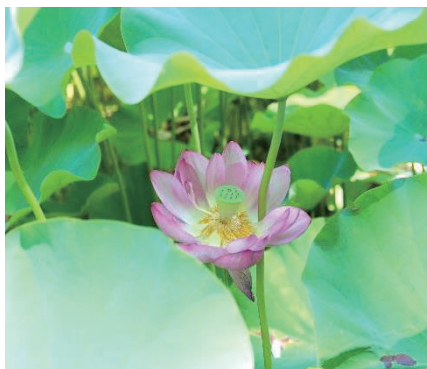
円龍寺

片谷地の地藏堂

大学到着



↑出土した「鉄剣」
(中谷柏 堀野建夫氏 所蔵)



←甲箭神社に咲く蓮の花



実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

須川の埋没林保存に向けて・・・

埋没林保存をテーマとする講座は、仙台「地底の森ミュージアム」探訪(2016年)を皮切りに、昨年、一昨年と専門家を招きシンポジウムを開催しました。昨年は、鼎談のまとめとして、具体的な保存に向けた検討委員会の設置が提案され、今年度、山形の宝事業から派生した「須川氷河期の埋没林対策委員会」が始動しました。



7月20日(土)開催のフォーラムは、その対策委員会の意向を踏まえ、参加者による意見交換を重視し、地区全体の「埋没林に寄せる熱い思い」を語り合う交流型の形式で開催しました。特に開催案内のチラシは、カラー印刷で、未来に向けた保存を呼びかけるとともに、「貴重な自然遺産・埋没林」の啓発イラストを掲載し、南山形地区全戸配布としました。当日は、県教育庁からの来賓2名を含め54名に参加いただきました。



3部構成による第1部では、山野井徹山形大学名誉教授から「埋没林は宝か」という問いかけで講話が始まり、埋没林の魅力と存在意義に、参会者は興味深く耳を傾けました。

第2部では、「かけがえのない貴重な宝」として、理解を深め広げてきた9年間の保存活動の記録をスライドで辿り、また、河川整備も含めた行政への要望活動が紹介されました。

そして、注目の第3部の意見交換では、一部掘り出しによる公的施設保存方法の提案や地区全体の野外ミュージアム構想が提案されました。

参会者からは、「行政に働きかけて早急に保存すべき」との声や、「埋没林を象徴としながら太古へさかのぼれるエリアの設置」や「南山形の誇るべき史跡や記念物による地域おこしを進めることで、地区全体の気運を高めることが必要」などが語られました。これまでの講座から一歩踏み出した有意義なフォーラムとなりました。

*****今年度の予定*****

講 座	講 師	日時・会場
第2回 「羽州街道を巡る」 －南山形地区の羽州街道－	梅津 保一 氏 (山形県地域史研究協議会会長)	9月7日(土) 13:30～15:00 南山形コミュニティセンター
第3回 高瀬助次郎著～百姓生活 百年記 巻式～発刊によせて	市村 幸夫 氏 (山形県立博物館友の会副会長)	11月9日(土) 13:30～15:00 南山形コミュニティセンター

実践プラン5 「谷柏田植踊」(20数年中断中)の復活・継承運動

前年度の3月16日(土)に、山形市民会館小ホールで行われた「山形市民俗芸能公演会」に、民俗芸能サークル「舞」のメンバー12名と保存会(地域在住者)が合同で出場しました。

この公演は第43回目を迎えた伝統あるもので、毎年「山形市民俗芸能連合保存会」が主催しております。谷柏田植踊は、2016年度の復活実現の際に、特別出演の依頼を受けて出場しており、今回は2回目の出場となりました。

出演した学生と保存会(地域在住者)のメンバーを以下にご紹介します。

- ・中太鼓：遠藤 諒夏 (総合文化学科2年)
- ・源内棒：渋谷 颯汰 (同 上)
- 村山 卓 (同 上)
- ・早乙女：菅井 梨帆 (同 上)
- 土田 有紗 (同 上)
- 三浦 麗奈 (同 上)
- 中島 愛美 (同 上)
- 恒儀 日菜 (同 上)
- 神尾 友佳子 (子ども教育学科3年)
- ・陰太鼓：笹原 捺希 (総合文化学科2年)
- 鳥前 拓也 (同 上)
- ・囃し手
- 唄：伊藤哲雄 石井慶市 丹野裕志 高瀬 勲 福井隆夫
- 笛：情野卯工門
- 鉦：金沢英雄
- ・寄太鼓：東海林明美 中村京子 渡辺千矢子 渡辺正江
- ・口 上：枝松昭男 横沢正己



今後の予定

●10月13日(日)

第10回東北文教祭(東北文教大学)

●10月27日(日)

・午前 北海道・東北ブロック民俗芸能大会(山形県民会館)

・午後 南山形地区文化祭(南山形地区コミュニティセンター)

●11月23日(土)

最上地区民俗芸能フェスティバル(新庄市駅舎「ゆめりや」)

●12月 8日(日)

慰問公演(特別養護老人ホーム「きらめきの里」天童市山口)

今回も「うづぐすえ」第9号をご覧くださいありがとうございました。お問合せの際は右の大学事務局までご連絡下さい。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。<URL : <http://uzugusue.net/jp/> >

●事務局連絡先

〒990-2316 山形県山形市片谷地515

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会

東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局

TEL : 023-688-2298